

視察を実施しました【自主防災機能強化支援】



1. 地域の現状と課題

- それぞれの地区で自主防災組織が設立されているが、災害への危機意識の低さや助け合い・避難する仕組みの未確立、要配慮者の増加が課題となっている。
- もしもの災害時に、みんなで支えて守る協力体制や地域のつながり、さらなる連携が重要である。

2. 目指す将来像

『住民同士の交流が生まれ、たすけあいの心豊かな地域をつくる』

- 防災対策の共通話題から地域内の「絆」復活
→地域住民全員が防災対策知識を習得
- 全地域・全自治会で取り組む
→災害時に近隣の住民と連携して適切な行動がとれる。要配慮者対策も地域で対応
- 地域内からの盛り上がりでのリーダー的人材の養成

3. 視察の実施

- 8月29日（土）出雲市須佐地区へ視察を実施
- ハザードマップの作成経緯や地域防災の取組を傾聴し、質疑応答を行った



須佐地区への視察の様子

4. 今後の展開

- 部会を開催し、視察の振り返りを実施
- 自主防災組織向けの研修会を企画